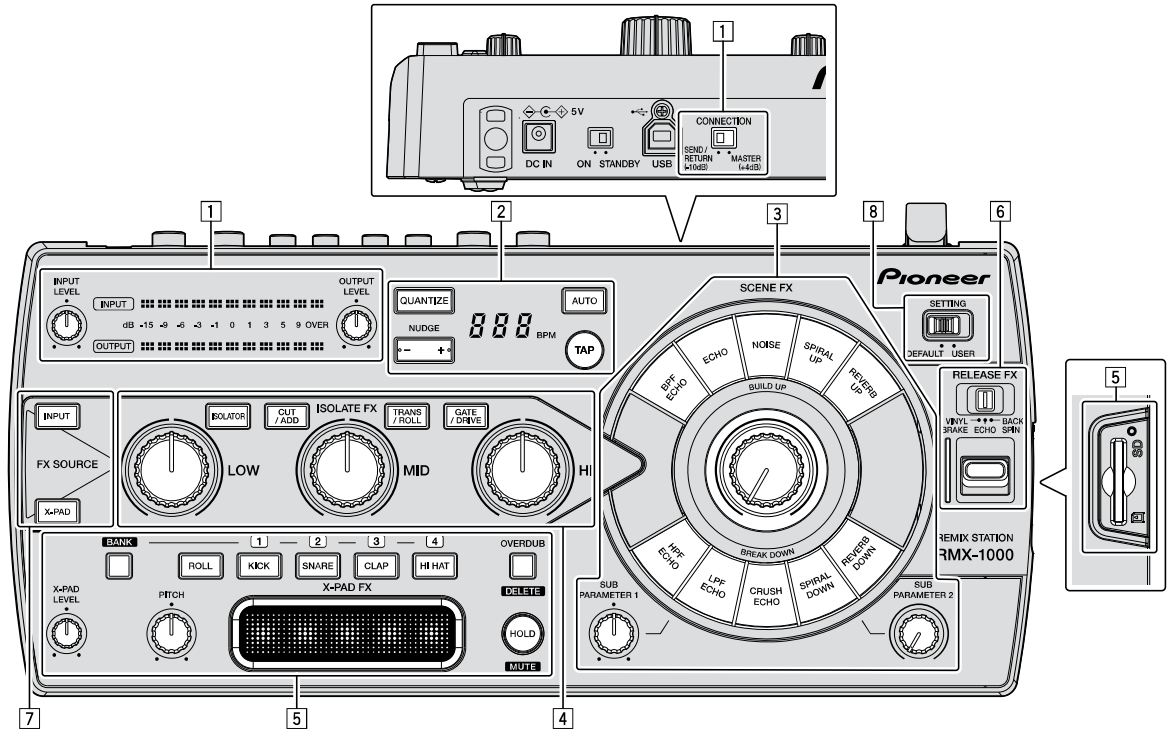
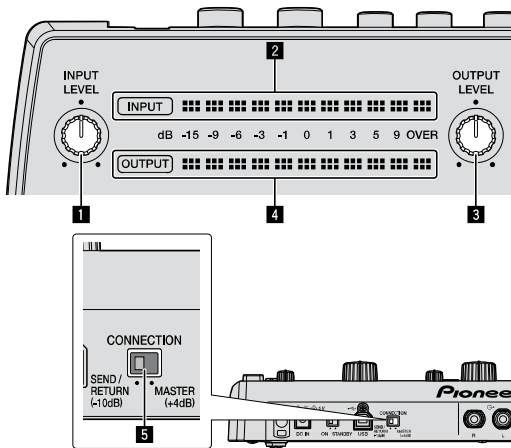


操作する



- 1 入力レベル / 出力レベルを調整する (11ページ)
- 2 BPM/QUANTIZE を設定する (11ページ)
- 3 SCENE FX セクション (12ページ)
- 4 ISOLATE FX セクション (12ページ)
- 5 X-PAD FX セクション (13ページ)
- 6 RELEASE FX セクション (14ページ)
- 7 FX SOURCE セクション (14ページ)
- 8 FX SETTING セクション (15ページ)

入力レベル / 出力レベルを調整する



1 INPUT LEVEL ツマミ

本機に入力される音声レベルを調整します。

2 INPUT レベルインジケータ

本機に入力される音声レベルを表示します。

3 OUTPUT LEVEL ツマミ

本機から出力される音声レベルを調整します。

4 OUTPUT レベルインジケータ

本機から出力される音声レベルを表示します。

5 CONNECTION 切換スイッチ

本機の入出力ゲインを切り換えます。

入力レベルを調整する

[INPUT LEVEL] ツマミを回す

右に回すほど本機に入力される音声レベルが大きくなり、左に回すほど本機に入力される音声レベルが小さくなります。

本機に音声が入力されているときは、[INPUT] レベルインジケータが点灯します。

出力レベルを調整する

[OUTPUT LEVEL] ツマミを回す

右に回すほど本機から出力される音声レベルが大きくなり、左に回すほど本機から出力される音声レベルが小さくなります。

本機から出力される音声レベルに応じて [OUTPUT] レベルインジケータが点灯します。

入出力ゲインを切り換える

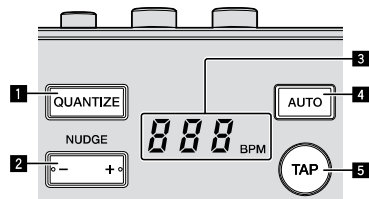
本機は、接続する機器に合わせて入出力ゲインを切り換えられます。

本機背面の [CONNECTION] 切換スイッチをスライドさせる

— [SEND/RETURN (-10 dB)] : DJ ミキサーの [SEND] 端子および [RETURN] 端子と接続するとき、または DJ プレーヤーの音声出力端子と接続するときを選びます。

— [MASTER (+4 dB)] : DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子と接続するときを選びます。

BPM/QUANTIZE を設定する



1 QUANTIZE ボタン

QUANTIZE 機能をオン / オフします。

X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを、再生中のトラックのテンポに同期させます。

2 NUDGE (+, -) ボタン

X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを微調整します。

3 BPM 表示部

BPM 測定モードがオートモードのとき、自動で検出した BPM 値を表示します。検出できないときは前回検出した BPM 値を表示して点滅します。

BPM 測定モードが手動入力モードのとき、手動で入力した BPM 値を表示します。

4 AUTO ボタン

BPM の測定モードを切り換えます。

— [AUTO] : 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。

— [TAP] : [TAP] ボタンを指で叩いて BPM を手動で入力します。

• [AUTO] の BPM 測定範囲は BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは [TAP] ボタンを使って手動で入力してください。

5 TAP ボタン

BPM の測定モードが手動入力モードのとき、ボタンを指で叩いて手動で BPM を入力します。

QUANTIZE 機能を使う

再生中のトラックのテンポをリアルタイムに解析し、X-PAD FX セクションから発音される音声を再生中のトラックのテンポに同期させます。

1 [QUANTIZE] ボタンを押す

QUANTIZE 機能をオンにします。

2 X-PAD FX セクションを操作する

X-PAD FX セクションから発音される音声の周期およびタイミングが、再生中のトラックのテンポに同期します。

• [ISOLATE FX セクション] の [TRANS/ROLL] のエフェクトの周期も再生中のトラックのテンポに同期します。

• [KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタンを押したときに発音されるワンショット音は、QUANTIZE 機能のオン / オフに関係なく即座に発音されます。

• ふたたび [QUANTIZE] ボタンを押すと、QUANTIZE 機能がオフになります。

NUDGE 機能を使う

[NUDGE (+, -)] ボタンを使って X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを微調整できます。

[NUDGE (+, -)] ボタンの [+] または [-] を押す

— [+] : X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを進めます。押し続けている間、音声の周期およびタイミングを進め続けます。

— [-] : X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを遅らせます。押し続けている間、音声の周期およびタイミングを遅らせ続けます。

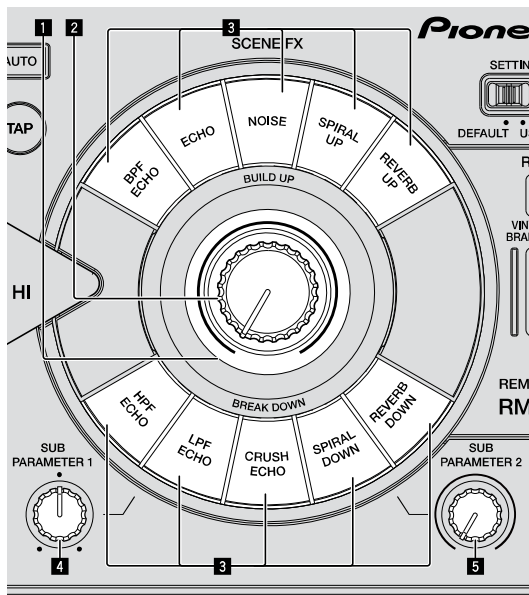
BPM を手動で入力する

再生中の音声の拍 (4 分音符) に合わせて [TAP] ボタンを 2 回以上指で叩く

[TAP] ボタンを指で叩いた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- [TAP] ボタンを押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を手動で設定できます。
- [TAP] ボタンを押しながら [AUTO] ボタンを押す、2 つのボタンを押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を 0.1 単位で設定できます。

SCENE FX セクション



1 SCENE FX インジケーター

エフェクトがオンのとき点灯します。[SCENE FX] ボタンの種類に合わせて点灯色が変化します。

2 SCENE FX ツマミ

選択された SCENE FX の効果を調整します。

3 SCENE FX ボタン

SCENE FX をオン / オフします。

4 SUB PARAMETER 1 ツマミ

SCENE FX のサブパラメーター 1 を調整します。

5 SUB PARAMETER 2 ツマミ

SCENE FX のサブパラメーター 2 を調整します。

SCENE FX を使う

1 [SCENE FX] ボタンのいずれかを押し

SCENE FX のエフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- エフェクトの種類について詳しくは、16ページ の「SCENE FX の種類」をご覧ください。
- 選んでいる [SCENE FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオフになります。

2 [SCENE FX] ツマミを回す

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- 右に回すとエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。

- 左に回すとエフェクトの効果が小さくなります。左に回しきると効果がかからず原音が出力されます。

3 [SUB PARAMETER 1] ツマミを回す

選択したエフェクトのサブパラメーター 1 の効果を調整します。

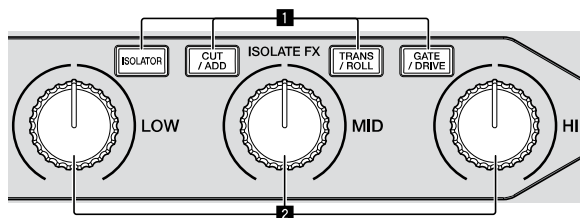
- センターから右に回すほど、エフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。
- センターから左に回すほど、エフェクトの効果が小さくなります。左に回しきると効果が最小になります。

4 [SUB PARAMETER 2] ツマミを回す

選択したエフェクトのサブパラメーター 2 の効果を調整します。

- 右に回すほど効果が強調されます。
- 左に回しきると効果が最小になります。

ISOLATE FX セクション



1 ISOLATE FX ボタン

ISOLATE FX をオン / オフします。

2 LOW ツマミ、MID ツマミ、HI ツマミ

選択された ISOLATE FX の低音域、中音域、高音域の効果を調整します。

ISOLATE FX を使う

1 [ISOLATE FX] ボタンのいずれかを押し

ISOLATE FX のエフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

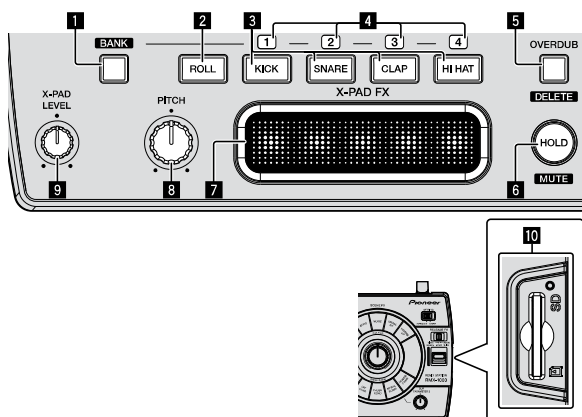
- エフェクトの種類について詳しくは、17ページ の「ISOLATE FX の種類」をご覧ください。
- 選んでいる [ISOLATE FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオフになります。

2 [LOW]、[MID]、または [HI] ツマミを回す

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- センターから右に回すほど、音を増やすエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。
- センターから左に回すほど、音を削るエフェクトの効果が大きくなります。左に回しきると効果が最大になります。

X-PAD FX セクション



- 1 BANK ボタン**
SDメモリーカードからサンプリング音源を読み出すときに使います。
- 2 ROLL ボタン**
本機に入力されている音声をサンプリングしてループ再生します。
- 3 X-PAD FX ボタン**
本機の内蔵音源、またはSDメモリーカードから読み出したサンプリング音源を選択して出力します。ボタンを押すと、即座に発音します (ワンショット音)。
- 4 BANK インジケーター**
SDメモリーカードからサンプリング音源を読み込むとき、読み込み可能なBANKの番号が点灯します。
- 5 OVERDUB (DELETE) ボタン**
OVERDUB機能をオン/オフします。
OVERDUB機能がオンのとき、任意の音を削除するために使います。
- 6 HOLD (MUTE) ボタン**
X-PAD FXの効果をホールドします。
OVERDUB機能がオンのとき、任意の音をミュートするために使います。
- 7 X-PAD**
X-PAD FXの効果を調整します。
- 8 PITCH ツマミ**
本機の内蔵音源、SDメモリーカードから読み出したサンプリング音源、またはループ再生している音声の音程を調整します。
- 9 X-PAD LEVEL ツマミ**
本機の内蔵音源、またはSDメモリーカードから読み出したサンプリング音源の音声レベルを調整します。
[ROLL] ボタンが押されているときは、再生中のトラックの音声レベルとサンプリングした音声の音量バランスを調整します。
- 10 SDメモリーカード挿入口**
SDメモリーカードをセットします。
 - SDメモリーカードは表裏に注意して挿入してください。
 - SDメモリーカードを無理やり出し入れしないでください。SDメモリーカードの破損および本機の故障の原因になります。
 - SDメモリーカード挿入口には、SDメモリーカード以外の物を挿入しないでください。コインなど金属物を挿入すると、内部回路が破損し故障の原因になります。
 - 本機で使えるSDメモリーカードの種類はSD規格に準拠したSDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードです。

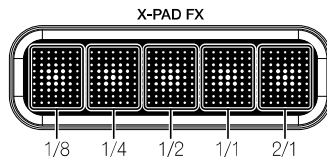
X-PAD FX を使う

- 1 [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す**
本機の内蔵音源、またはSDメモリーカードから読み出したサンプリング音源を選択して出力します。ボタンを押すと、即座に発音します。押したボタンが点灯します。
 - [KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、および [HI HAT] ボタンには、それぞれ内蔵音源がプリセットされています。
 - SDメモリーカードに記録されているサンプリング音源を選ぶときは、[BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンを押します。

- 2 [X-PAD] に触れる**
エフェクトをオンにします。
[X-PAD] に触れる位置によってエフェクトの効果が変化します。
 - [X-PAD] から指を放すとエフェクトがオフになります。

再生中の音声をサンプリングして X-PAD FX を使う

- 1 [ROLL] ボタンを押す**
[ROLL] ボタンが点灯します。
- 2 [X-PAD] に触れる**
[X-PAD] に触れた時点の音声サンプリングされループ再生が始まります。
サンプリングされる拍数は [X-PAD] に触れる位置によって異なります。



- [X-PAD] から指を放すとエフェクトがオフになります。

ホールド機能を使う

- [HOLD (MUTE)] ボタンを押す**
ホールドをオンにすると、[X-PAD] から指を放す直前の X-PAD FX の効果を保ち続けます。
 - ふたたび [HOLD (MUTE)] ボタンを押すとホールドがオフになります。

BANK 機能を使う

- [BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタン ([KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタン) を押すと、本機のSDメモリーカードスロットに挿入されたSDメモリーカードから [BANK1]、[BANK2]、[BANK3]、または [BANK4] のサンプリング音源を [X-PAD FX] ボタンにロードできます。
 - SDメモリーカードからサンプリング音源を [X-PAD FX] ボタンにロードするときは、あらかじめremixboxを使ってSDメモリーカードにサンプリング音源を保存してください。詳しくは、remixboxの取扱説明書をご覧ください。**

- 1 サンプリング音源が保存されているSDメモリーカードを本機のSDメモリーカードスロットに挿入する**
- 2 [BANK] ボタンを押して、ロードできるBANKを確認する**
[BANK] ボタンを押すと、ロードできるBANKの [BANK] インジケーターが点滅します。

3 [BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタン ([KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタン) を押す

SD メモリーカードに保存されているサンプリング音源を、選択した BANK の [SLOT1] ~ [SLOT4] にロードします。

	[KICK] ボタン	[SNARE] ボタン	[CLAP] ボタン	[HI HAT] ボタン
[BANK] ボタン+ [KICK] ボタン	BANK1 SLOT1	BANK1 SLOT2	BANK1 SLOT3	BANK1 SLOT4
[BANK] ボタン+ [SNARE] ボタン	BANK2 SLOT1	BANK2 SLOT2	BANK2 SLOT3	BANK2 SLOT4
[BANK] ボタン+ [CLAP] ボタン	BANK3 SLOT1	BANK3 SLOT2	BANK3 SLOT3	BANK3 SLOT4
[BANK] ボタン+ [HI HAT] ボタン	BANK4 SLOT1	BANK4 SLOT2	BANK4 SLOT3	BANK4 SLOT4

- ロードできる音源は最大 4BANK × 4SLOT です。
- 1BANK(4SLOT の合計) に設定できる音源は、最大 16 秒までです。
- 音源は 48 kHz 24 bit または 48 kHz 16 bit の WAV ファイルに対応しています。
- ふたたび [BANK] ボタンを押しながら点灯している [X-PAD FX] ボタンを押すと、本機の内蔵音源を選択して発音します。

OVERDUB 機能を使う

❖ 音を記録して再生する

各 [X-PAD FX] ボタンを 4 拍分記録してループ再生します。

1 [OVERDUB (DELETE)] ボタンを押す

OVERDUB 機能をオンにします。

[X-PAD FX] ボタンを操作するまで待機状態になります。

2 [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

[X-PAD FX] ボタンを押した時点から音を記録し始め、4 拍分のループ再生を始めます。

- ループ再生中に [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押すと、押された [X-PAD FX] ボタンの音を追加することができます。
- ふたたび [OVERDUB (DELETE)] ボタンを押すと OVERDUB 機能がオフになり再生および記録をやめます。記録した音は削除されます。

❖ 記録した音をミュートする

[HOLD (MUTE)] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

記録した音から、押された [X-PAD FX] ボタンの音をミュートします。

- ふたたび [HOLD (MUTE)] ボタンを押しながらミュート中の [X-PAD FX] ボタンを押すと、ミュートが解除されます。

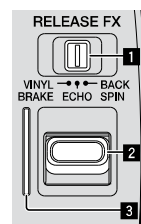
❖ 記録した音を削除する

[OVERDUB (DELETE)] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

記録した音から、押された [X-PAD FX] ボタンの音を削除します。

- 削除した音は元に戻せません。

RELEASE FX セクション



1 RELEASE FX 切替スイッチ

RELEASE FX の種類を切り換えます。

2 RELEASE FX レバー

RELEASE FX の効果を調整します。

3 RELEASE FX インジケーター

エフェクトがオンのとき点灯します。[RELEASE FX] レバーの位置に合わせて点灯します。

RELEASE FX を使う

1 [RELEASE FX] 切替スイッチを切り換える

RELEASE FX の効果を選びます。

- エフェクトの種類について詳しくは、18 ページの「RELEASE FX の種類」をご覧ください。

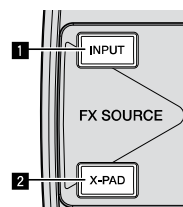
2 [RELEASE FX] レバーを手前に倒す

エフェクトをオンにします。

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- レバーの位置に合わせてエフェクトが変化します。
- レバーを元の位置に戻すとエフェクトがオフになります。それまでオンになっていた SCENE FX、ISOLATE FX および X-PAD FX もオフになります。

FX SOURCE セクション



1 INPUT ボタン

本機の [INPUT] 端子に入力される音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通します。

2 X-PAD ボタン

X-PAD FX から出力される音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通します。

音声信号の経路を切り換える

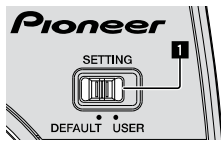
本機に入力される音声および本機内部で発生させる音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通す / 通さないを切り換えます。

[INPUT] ボタンまたは [X-PAD] ボタンを押す

選んだ音声信号が本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に入力されます。

- [INPUT] ボタンと [X-PAD] ボタンは同時に選択することもできます。
- SCENE FX セクションの [NOISE] は、[INPUT] ボタン、[X-PAD] ボタンの状態にかかわらず効果がかけられます。

FX SETTING セクション



1 SETTING 切換スイッチ

本機のエフェクトのパラメーターデータを [DEFAULT] モードまたは [USER] モードに切り換えます。

- [DEFAULT] モード：工場出荷時のパラメーターデータで本機を使用することができます。
- [USER] モード：remixbox を使って作成したパラメーターデータを本機に読み込んで使用することができます。

remixbox を使ってできること

本機に付属のアプリケーション「remixbox」を使って、以下のような設定を変更することができます。

- エフェクトのパラメーター：各エフェクトのパラメーターをカスタマイズできます。
- エフェクトの種類：X-PAD FX の [ROLL] を別のエフェクトに変更できます。
- ボタンの感度：[SCENE FX] ボタンおよび [ISOLATE FX] ボタンの感度を調整できます。
- サンプリング音源の管理：本機に読み込み可能なサンプリング音源の保存、および管理をすることができます。

詳しくは、remixbox のヘルプをご覧ください。

remixbox のインストール方法は 19 ページの「remixbox を使う」をご覧ください。

本機を USER モードで使う

- あらかじめ remixbox を使ってカスタマイズパラメーターデータを作成してください。
- 工場出荷時は、[USER] モードには [DEFAULT] モードと同じパラメーターデータが書き込まれています。

❖ remixbox から本機にカスタマイズパラメーターデータを書き込む

- 1 remixbox がインストールされているコンピュータと本機を USB ケーブルで接続する
- 2 remixbox から本機にカスタマイズパラメーターデータを送信する
- 3 [SETTING] 切換スイッチを [USER] の位置にスライドさせる

❖ SD メモリーカードに保存されたカスタマイズパラメーターデータを読み込む

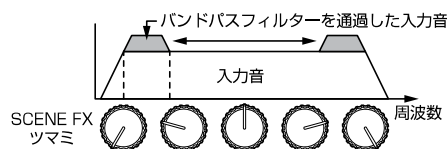
- 1 remixbox を使って、SD メモリーカードにカスタマイズパラメーターデータを保存する
 - 2 手順 1 の SD メモリーカードを、本機の SD メモリーカードスロットに挿入する
 - 3 [SETTING] 切換スイッチを [USER] の位置にスライドさせる
- SD メモリーカードに保存されたカスタマイズパラメーターデータは、その SD メモリーカードを挿入しているときだけ本機に反映されます。

エフェクトの種類

SCENE FX の種類

BPF ECHO

バンドパスフィルターを通した入力音をもとの入力音に重ね、エコーを通してから出力します。入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



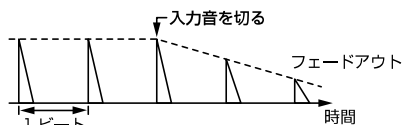
SCENE FX ツマミ バンドパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 出力にモジュレーションの効果を加えます。

ECHO

入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



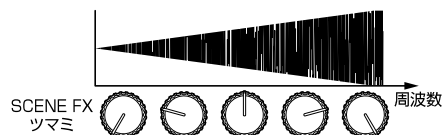
SCENE FX ツマミ 原音とエコー音のバランスを設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ フィルターのカットオフ周波数を設定します。

NOISE

本機内部で発生させたホワイトノイズをバンドパスフィルターとエコーを通してから出力します。



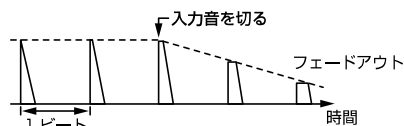
SCENE FX ツマミ ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ ホワイトノイズの音量を設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ ホワイトノイズにモジュレーションの効果を加えます。

SPIRAL UP

入力音に残響効果を加えます。ディレイタイムを変化させたとき、同時に音程も変化します。



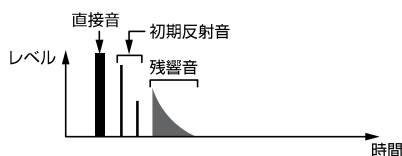
SCENE FX ツマミ SPIRAL UP のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 音程を上げるときのピッチシフト量を設定します。

REVERB UP

入力音に残響効果を加えます。



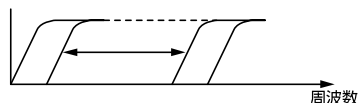
SCENE FX ツマミ 残響効果の程度を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ 残響効果の程度を設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

HPF ECHO

入力音をハイパスフィルターとエコーを通してから出力します。入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



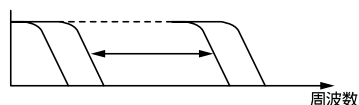
SCENE FX ツマミ ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 出力にモジュレーションの効果を加えます。

LPF ECHO

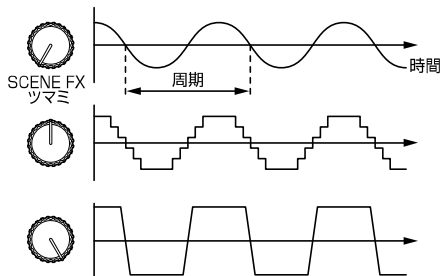
入力音をローパスフィルターとエコーを通してから出力します。入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



SCENE FX ツマミ	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	出力にモジュレーションの効果を加えます。

CRUSH ECHO

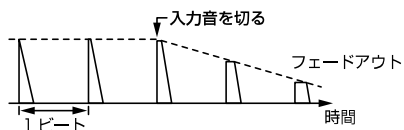
入力音を壊したような音にして、フィルターとエコーを通してから出力します。
入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



SCENE FX ツマミ	入力音を壊す程度を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	出力にモジュレーションの効果を加えます。

SPIRAL DOWN

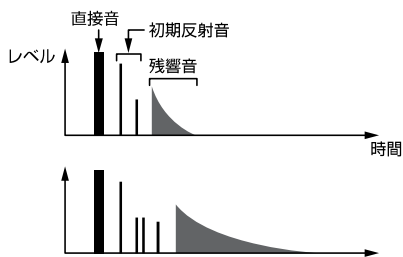
入力音に残響効果を加えます。
ディレイタイムを変化させたとき、同時に音程も変化します。



SCENE FX ツマミ	SPIRAL のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	音程を下げるときのピッチシフト量を設定します。

REVERB DOWN

入力音に残響効果を加えます。



SCENE FX ツマミ	残響効果の程度を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	残響効果の程度を設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

ISOLATE FX の種類

ISOLATOR

入力音を低音域、中音域、高音域の 3 つの帯域に分割し、それぞれの帯域の音声レベルを調整することができます。

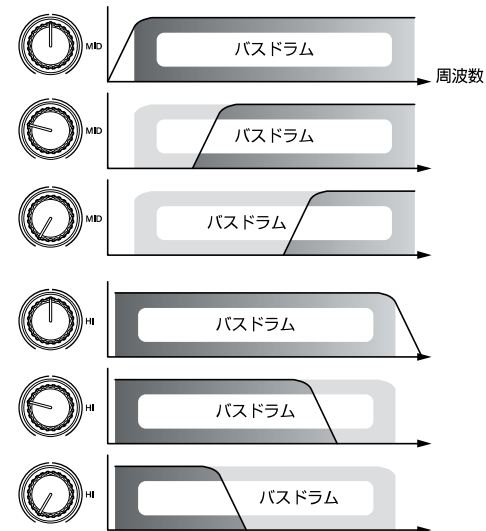
LOW ツマミ	低音域の音声レベルを調整します。
MID ツマミ	中音域の音声レベルを調整します。
HI ツマミ	高音域の音声レベルを調整します。

CUT/ADD

❖ CUT : 左回し

入力音の中から検出したバスドラムの音声レベルと、マニュアルフィルターのカットオフ周波数を調整できます。

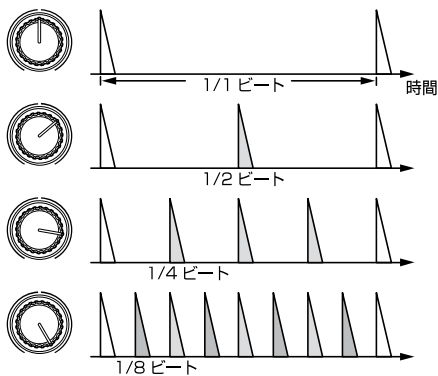
LOW ツマミ	入力音の中から検出したバスドラムの音声レベルを調整します。
MID ツマミ	入力音の中から検出したバスドラム以外の音声にハイパスフィルターをかけます。
HI ツマミ	入力音の中から検出したバスドラム以外の音声にローパスフィルターをかけます。



❖ ADD : 右回し

入力音の拍の倍率に合わせて 1/8 拍のディレイ音を追加できます。

LOW ツマミ	低音域のディレイ音の音声レベルを調整します。
MID ツマミ	中音域のディレイ音の音声レベルを調整します。
HI ツマミ	高音域のディレイ音の音声レベルを調整します。

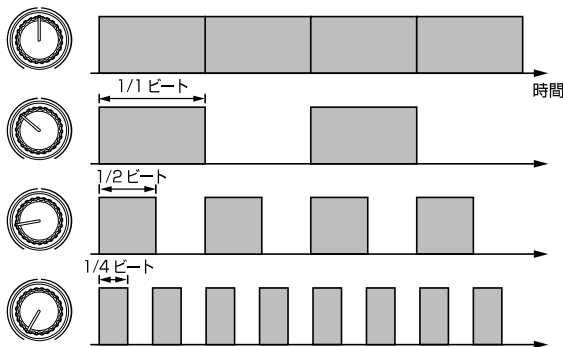


TRANS/ROLL

❖ TRANS : 左回し

ツマミの位置で設定した拍の倍率に合わせて入力音をカットします。

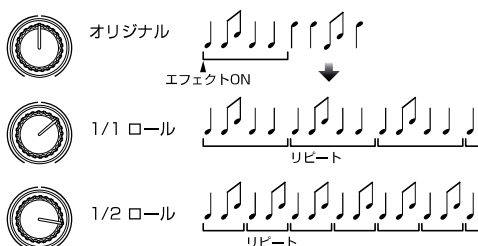
LOW ツマミ	低音域の音声をカットする量を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声をカットする量を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声をカットする量を調整します。



❖ ROLL : 右回し

[LOW] ツマミ、[MID] ツマミ、または [HI] ツマミを回した時点から入力音を記録し、ツマミの位置で設定した拍の倍率に合わせて記録した音を繰り返し出力します。

LOW ツマミ	低音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。

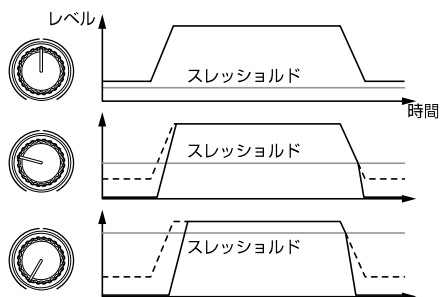


GATE/DRIVE

❖ GATE : 左回し

スレッシュホールドレベルよりも高いレベルの入力音は出力し、低い入力音はカットします。

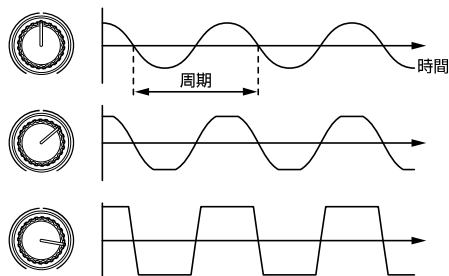
LOW ツマミ	低音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。
MID ツマミ	中音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。
HI ツマミ	高音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。



❖ DRIVE : 右回し

入力音を歪ませます。

LOW ツマミ	低音域の音声を歪ませる量を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声を歪ませる量を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声を歪ませる量を調整します。



X-PAD FX の種類

ROLL	[X-PAD] に触れた時点から入力音を記録し、記録した音を [X-PAD] で設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。
KICK	本機の内蔵音源 (KICK) を出力します。
SNARE	本機の内蔵音源 (SNARE) を出力します。
CLAP	本機の内蔵音源 (CLAP) を出力します。
HI HAT	本機の内蔵音源 (HI HAT) を出力します。
SAMPLER	SD メモリーカードに記録されているサンプリング音源を出力します。

RELEASE FX の種類

VINYL BRAKE	入力音の再生速度を徐々に遅くしていき、最終的に停止するときのような効果が得られます。
ECHO	入力音のビートに合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。
BACK SPIN	再生中の入力音を高速で逆再生させたときのような効果が得られます。